

1 教科について

国語

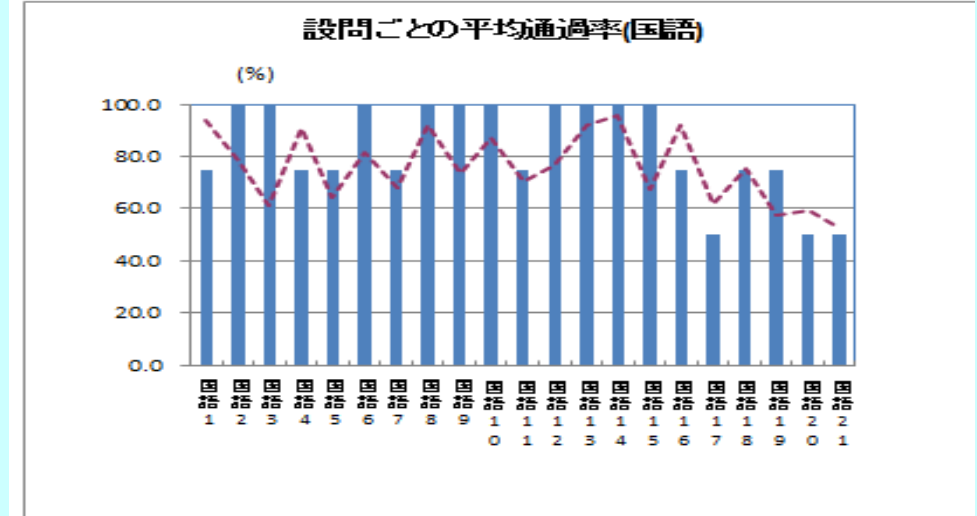
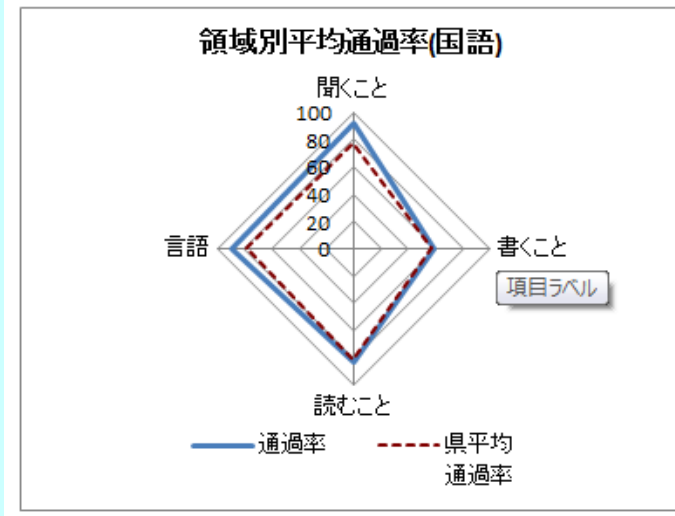
昨年度の課題

- ①【聞くこと】順序を追って要点を正しく聞き取ることができにくい。
- ②【読むこと】あらすじを書いたり、叙述をもとにして想像をふくらませたりすることができにくい。
- ③【書くこと】相手意識をしっかり持ち、根拠をもとに自分の考えを明確にして書くことができにくい。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ①朝会や発表の場において、ナンバリングなどの言語技術を用いて伝え合う場を設定し、発表後には全員感想を言わせ、聞く力を育てる。
- ②読書朝会における本の紹介や読み聞かせを通して、読書に対する興味関心を高め、読書目標ページ数の達成を図る。
- ③学びタイムで【100マス作文】を行い、課題に対する自分の思いや感想などを書く活動を継続して行う。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 83.3% 県平均 75.8%



重点課題 ◎：「基礎・基本」定着状況調査
◇：全国学力・学習状況調査

◎長い文章の主旨を明らかにし、短くまとめて書くことができない。

◎はがきの表記の仕方が理解できていない

◇様々な情報から問題に対する適切な情報を選んで文章にまとめることができにくい。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 学校全体で土日の宿題に読書を取り入れる。土日の日記には、読書感想を書かせ、内容をまとめさせる学習を継続する。
- ② 帯タイムを利用して作文・手紙の書き方の指導（表記、百字以内にまとめる等）を学校全体で取組む。また、教科等（国語科、生活科、総合的な学習の時間等）で実際に手紙を書かせる活動を設定する。
- ③ 帯タイムを利用して「子ども新聞」などを活用し、課題に対する情報をどのように読み取っていくか視点を与えて考えさせ、文章にまとめさせる。

☆ **小中一貫共通課題（中学校区）**
・文章全体を繰り返し読ませ、段落の要点や関係を表や図にまとめる学習を行う。また、教材の文章全体の展開を真似て、物語文や説明文を書く学習をさせる。

来年度の目標値 ○県平均よりも10ポイント以上 上回る。

指導方法等の改善計画について

算 数

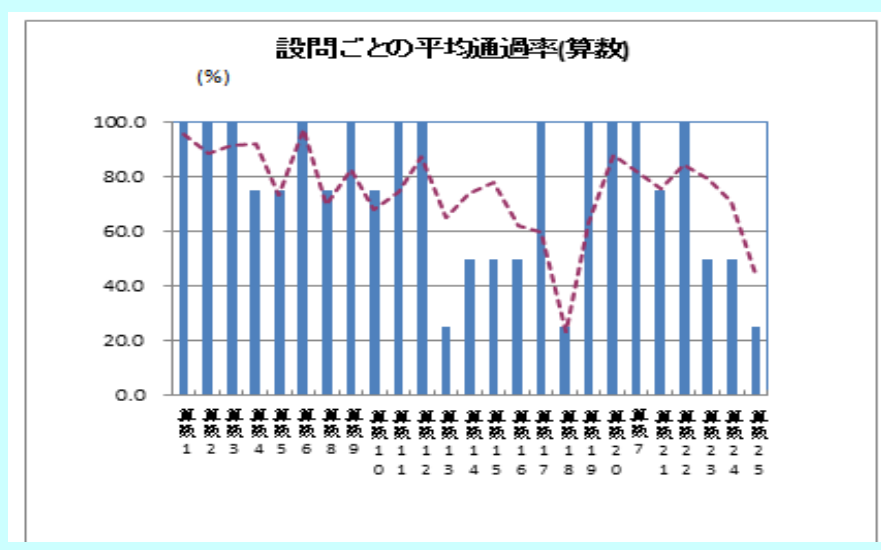
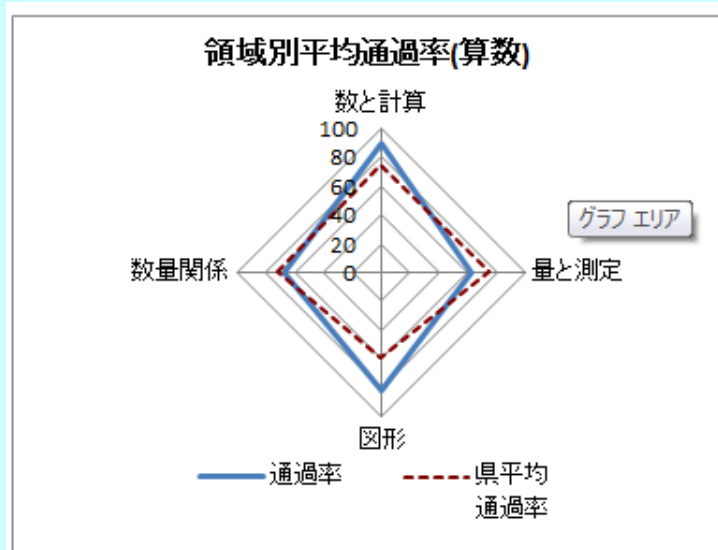
昨年度の課題

- ①【図形】複合図形の面積の求め方が理解できていない。
- ②【数と計算】問題に書かれている考えが正しいか理由を記述することができにくい。

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ①複合図形がどんな図形から成り立っているか理解できるように補助線などのかかせる。また、式から複合図形の求め方を考えさせるなど多様な考え方を授業に取り入れる。
- ②基礎基本の内容は、「学びタイム」「放課後自主学習」などを使い、しっかり理解させていく。
- ③授業において、問題文を正確に読み取るために数字や算数用語などを的確に捉えさせ、図や数直線などを用いて考えを書かせ、説明することを積極的に取り入れる。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **76%** 県平均 **75.0%**



重点課題

- ◎: 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇: 全国学力・学習状況調査
- ◎伴って変わる数量の数字が変化する規則性を見つけ、一般化し理解することに課題がある。
- ◎図形（ひし形）の定義を理解していない。
- ◎時間をよみとることに課題がある。
- ◇伴って変わる数量の数字の変化する規則性を見出していない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

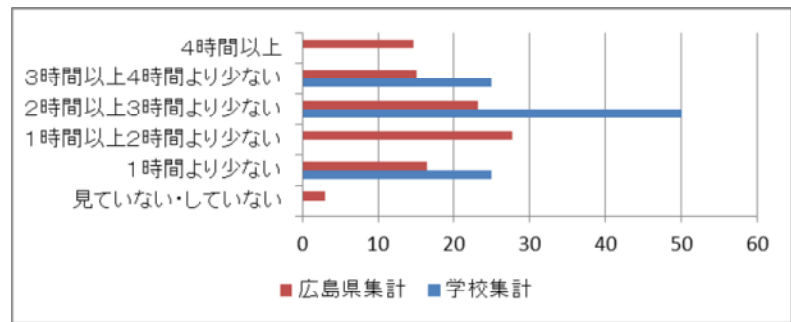
- ① 伴って変わる数量の問題では、表を横に見たり、縦に見たりして、数字の変化する規則性を多様に見つけさせる。また、具体物・図・式などとともに対応させながら数量の変化に気づかせるとともに適応問題を数多く解かせる。
 - ② 2つの図形の違い（例：ひし形と正方形）について、算数用語を使ってノートに書かせ、発表させるなど具体的な場面を設定して図形の定義を理解させる。
 - ③ 日々の生活の中で時刻だけでなく、時間を意識させる場を設定する。
- ☆ 小中一貫共通課題（中学校区）
- ・説明する力をつけるために、図形の定義や算数用語の意味を理解させ、問題解決をする時には、『根拠』『論理的に（順番）』『方法（図、表、グラフ、式）』を入れてノートに自分の考えを書かせ、操作と説明を結びつけて説明させる。

来年度の目標値 ○県平均より5ポイント以上 上回る。

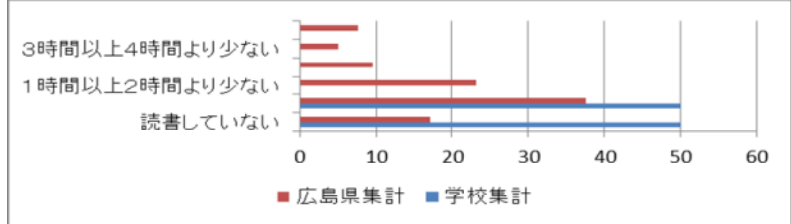
2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

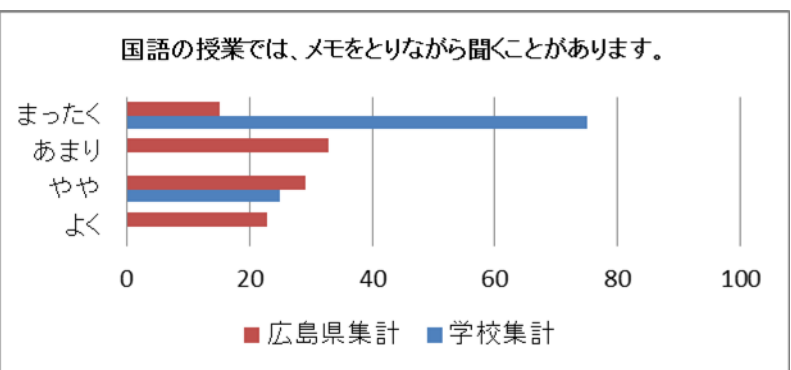
ふだん（月～金）、1日何時間くらいテレビを見たり、ゲームをしたりしていますか。



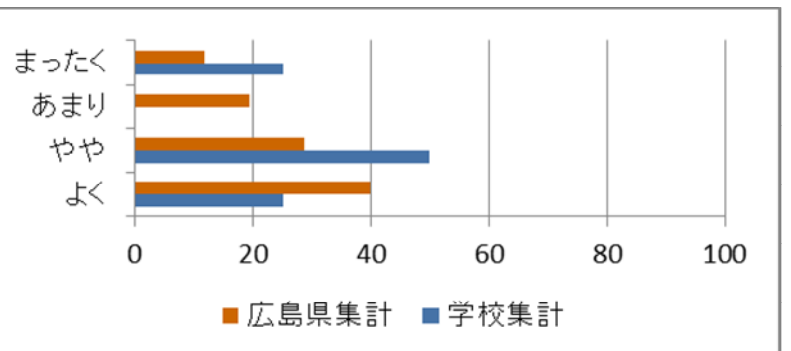
1週間（土曜日、日曜日を含む）家で何時間くらい読書をしていますか。



(2) 教科



算数の勉強は好きです。



| 改善したい点（◎「基礎・基本」、◇「全国」） | | 今後の具体的な取組の内容 |
|--|---|---|
| ◎ テレビやゲームの時間が長い。 ◎ 家庭での読書の習慣が少ない。 ◇家庭で読書をするために、地域の図書館などへ行くことがほとんどない。 | | ◎ 生活見直しカードなどを使って養護教諭と共に個々の生活習慣の指導を行い、家庭にもその指導内容を伝え連携を図る。 ◎ 土日に読書の宿題（15分）を行い、日記に読書の感想などを書かせる。それを学級内や読書朝会などで紹介し読書の内容的な興味・関心を持たせる。読書朝会を利用していろいろなジャンルの読書を紹介する。 |
| 来年度の目標値 | ・土日の読書の宿題（15分）を全員が100%やり切る。 ・家庭学習（宿題）を全員が100%やり切る。 | |
| 児童の回答と学校の指導についての課題（◎「基礎・基本」、◇「全国」） | | 授業改善の方向性や具体的な取組 |
| 国語 | ◎ 国語の授業では、メモを取りながら聞くことが少ない。 ◎ 国語の授業では、段落ごとに何が書かれているのかを整理しながら、文章を読んでいない。 ◇目的に応じて話したり書いたりすることができ、段落相互の関係に気を付けて読むなど概ね学習に対して前向きである。 | ◎ 文章を段落ごとにしっかり読ませ、段落の要点や関係を表や図などにまとめるなどの指導の工夫を図る。 ◎ 相手に自分の考えを伝えるために、話す内容の構成メモを書いて発表させる。 |
| 算数 | ◎ 前年度は、算数の時間を楽しみにしていたが、今年度は、文章を式で表したり式にあてはまる問題を作ったりすることを好んでいないなど算数の時間をあまり楽しみにしていない。 ◇算数の授業内容をよくわかっているが、算数の勉強はあまり好きではない。 | ◎ 問題を理解できていない児童には手だてを行い、問題を理解させる。自分の考え方を図など使ってノートに書かせ、発表させ、友達の考えと比較させるなどしっかり考えさせる場を増やす。 ◎ 問題が解けたことだけを評価するのではなく、問題を解くまでの過程も評価し、児童の意欲につなげる。 |
| 来年度の目標値 | ・「国語・算数の勉強が好き」と答える児童の肯定的評価を100%にする。 ・ノートを活用して、自分の考えをまとめることができる児童の肯定的評価の割合を100%にする。 | |

指導改善のための実施スケジュール

